

せんだん

岩国市立米川小学校だより

令和6年度 No.7 11月1日発行

米川小学校長

米川小ゆるキャラ
「せんちゃん・だんちゃん」



〈周東町全小中学校教育目標〉

「ふるさとを愛し 心豊かに たくましく生き抜く 児童生徒の育成」

花いっぱいコンクール「市議会議長賞」をいただきました

今年度も岩国市では花いっぱいコンクールが開催され、例年のように本校はエントリーしました。このコンクールの目的は「花いっぱい運動を推進するため、花を育て花に親しみ、環境の美化、青少年の健全育成、地域連帯感の醸成などの地域づくりに顕著な功績のあった団体を表彰する。」とあります。花育に取り組む米川小としては、願ってもないコンクールです。県下的には同様のコンクールを取りやめた自治体も多いと聞きます。そういった意味でも、毎年岩国市で行われるこのコンクールは、学校にとって励みになるものだと感じています。そしてこの度の審査で、名誉ある「市議会議長賞」をいただくことができました。

米川小学校はこの花育を通して、児童に植物を育てる力を育てたいと考えています。種から育てた花は無農薬の土で生長し、夏にはマリーゴールドや日々草、春にはパンジーやビオラで満開の花壇になります。とぎれることなく年間を通じて花を育て、花づくりを通して自然の中での花への向き合い方を学びます。種まきには発芽を考えた蒔き方が大切で、苗が育つまで水やりを丁寧に行うこと。苗が育ったら、咲いたときのレイアウトを考えて広い花壇へ移植すること。天候や気候を見ながら水やりをしていくこと。花が株を大きくするために、草抜きや花摘みをしていくこと。どれも大切な作業であり、植物の生長に一喜一憂します。失敗したら次はこうしようと新しい意欲にもえ、きれいに咲き誇ったときには来年もがんばろうと思う心が育つのです。もちろん、学校だけでは花育は進められません。そこには多くの地域や保護者の皆様のお力添えがあります。学校の考えをしっかりと受け止めてくださり、学校が気づかないところにさっと手を入れてくださる、本当に温かいお力添えです。米川小学校の花育は、学校と地域が連携して推進する、他校に負けない特色のある取組であると、改めて感じさせていただいています。

表彰式には6年生の代表児童とともに参加し、学校の部からは3校、一般の部からは3団体が表彰されました。本校もそうですが、今年は何の学校・団体も猛暑と雨不足に悩まされ、ぎりぎりのところでの栽培となったようです。参加した児童は、とても緊張したと言っていましたが、賞状を受け取ったときや記念写真を撮ったときの顔は自信に満ちていました。花育は、米川小の自慢の一つになっているとうれしくなりました。



11・12月のおもな行事予定

11月10日(日)	米川農業文化祭出演	12月 3日(火)	持久走大会
14日(木)	玖西地区音楽会	10日(火)	全校5校時授業
16日(土)	ふれあいフェスタ	(~13日まで)	
18日(月)	振替週休日	23日(月)	個人懇談(希望者)
20日(水)	観劇教室	24日(火)	終業式、給食終了



琵琶の弾き語り



今年も読み語りの会の皆さんに弾き語りをお願いしました。今年
は米川地区に残る「孝行塚」にまつわる紙芝居をしました。紙芝居
は、夏休み中に5・6年生が作成しました。



いも掘り

10月22日にいも掘りをしました。1日雨予報でしたが、雨が上
がったのを見計らって、全校で一気に掘り上げました。CSの方のお力
添えて、大収穫できました。



童謡の会

「赤とんぼの会」の34名が来校され、児童と歌の交流会をもちまし
た。きれいな歌声を聴かせていただいただけではなく、一緒にコーポ
で歌ったり、小学校からは歌のプレゼントをしたりして、楽しい時間になりました。



観劇教室「キツネの幻燈会」があります

日時 : 11月20日(水) 11:05~12:05

場所 : 米川小体育館

※開場は10:55からです。それまではワークショップで活動して
いるため入れません。

内容 : 原作は宮沢賢治の「雪渡り」で、劇団たね蒔く人たちによるミュージカ
ルです。

観覧無料です。子ども達と楽しい時間を過ごしましょう。



学校だよりのご意見・ご感想は、いつでもご連絡ください。(米川小:84-0607)